

2018WORLD ROWING UNDER23 CHAMPIONSHIPS REPORT 3 (7/21)

9:00 バスでポートコースに向け出発

9:11 ポートコースに到着

昨日の引き続きリギングを確認するクルーもありましたが、大林ヘッドコーチ、吉田コーチのフル回転の働きのおかげで、無事全クルーリギングをほぼ確定させ、乗艇練習もしっかり行うことが出来ました。



コースオープン前でも大会組織委員会がホテルからのバスを手配してくれている。流石世界選手権も行われた会場だと感じさせてくれる。



ゴール方向から見るマルタ湖。手前のラックはまだ艇はあまり置かれていない。

この日は午前中だけのトレーニングでしたが、各クルーとも明日のB5に向けてしっかりと確認を行っていました。



水上に繰り出すBLW4xクルー(左)と安井選手(早稲田大学)(右)。選手の背景からマルタ湖が街中にあることがわかる。



リギングに少し時間はかかったものの遅れを取り戻すBLM4xクルー。左からB一瀬選手(仙台大学)、2新井選手(慶應義塾大学)、3武田選手(関西電力美浜)、S宮浦選手(中央大学)

滑らかに艇速を上げて行くBLW4xクルー。左からS瀧本選手、3成瀬選手、2高島選手(3名とも明治大学)、B石垣選手(法政大学)



フィニッシュでしっかりと加速して艇を進めるBW2xクルー。左からS米川選手(早稲田大学)、B中条選手(DENSO)

安井選手(早稲田大学)は1xでトレーニング。軽快なリズムで力漕します。





トレーニングの様子を見守る大林ヘッドコーチ。



BW2-クルー。左からS高野選手(立命館大学)、B西原選手(東北大学)



真っ先に乗艇練習を始めたBLM1xの伊藤選手(早稲田大学)。昨日の午前は波や風の影響を多少受けていたが、この日はスムーズに艇を動かしていた。



オープンカテゴリーならではの力強いドライブを見せるBM2xクルー。左からS櫻間選手(同志社大学)、B木村選手(日本大学)

ホテルから会場までの距離が近く、非常に恵まれた環境で最終調整を行っております。ただ、街中にあるだけに、交通渋滞の影響で大会時のバスの遅れなども考えられるので、しっかり想定した行動をしていく必要があります。

明日はコースオープン前最後の日になります。少しずつ国も増えてきているため、コースが空いているうちに確認すべきことをしっかりと確認していきます。